

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	開所1年あまりということで、まだ馴染みのない地域の方たちもおられるので今後もっと事業所の事を知ってもらい交流の場を広げていく。	地域の一員として行事に参加したり来ていただいたりして交流の機会を増やす。	地域の公民館や保育園、学校の行事などの情報を聞き、参加できるものに参加する。	10ヶ月
2	6	身体拘束をしないケアについて職員それぞれが知識を持って実践しているつもりだが共通の認識として「介護指定基準における禁止と対象となる具体的な行為」を正しく理解する。	身体拘束について定期的に勉強会を行い、正しい知識を持って身体拘束をしないケアを実践する。	身体拘束とは具体的にどのような行為をいい、どうすればしないケアができるのか勉強会を行う。	3ヶ月
3	20	利用者様は家族や親族、友人との繋がりを強く求められるが頻繁に行き来することが難しい状況にある。	本人が大切な人と繋がっていると実感でき穏やかな精神状態で過ごすことができる。	家族や本人が希望される人と相談し、話をしたりハガキや手紙のやりとりが出来るようにする。	11ヶ月
4	36	日々の業務の中で、なれあいになったり習慣化していることで誇りやプライバシーを損ねることがないか振り返って確認する。	職員それぞれが人格を尊重し誇りやプライバシーを損ねない対応をおこなう。	定期的に接遇や福祉職員としての心構えなど再確認するための研修会を行う。	11ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。